

行政視察研修

文教福祉常任委員会

英語は教科ではなくツールである
10月1日から3日まで、長野市、
金沢市、高岡市への教育行政と福祉
行政の視察をいたしました。

報告項目はたくさんありますが、
その中でもほかにあまり事例のない
金沢市の「小中一貫英語教育」につ
いて報告いたします。

「英語は教科ではなくツールであ
る」という認識の下、平成16年4月
より、すべての市立小中学校で中
一貫英語教育が行われています。小
学校3年生より副読本を使用した英
語授業を開始し、小学校6年生で中
1用英語教科書を使用し、それぞれ



長野市役所にて

の学年中に上位学年の教科書に移り、
それとともに副読本も取り入れ、英
語教師とALTとの2人体制で指導
しています。これにより、小学校6
年生に対する意識調査では英語の授
業がわかる割合は平成16年度78・1
パーセントに対し、平成18年度82・
7パーセント、中学3年生の英検3
級以上の生徒の割合は22・5パーセ
ントから、29・8パーセントと成果
をあげています。本市も中学生海外
派遣事業などを積極的に行っており、
大いに参考になりました。

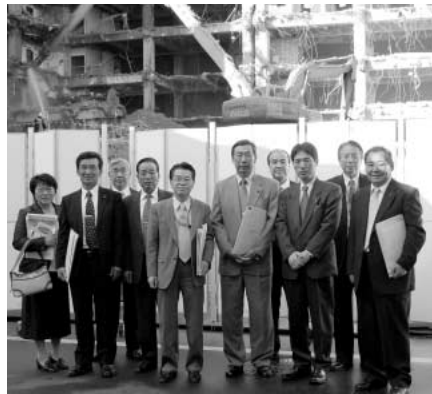
まちづくり常任委員会

地震による災害の現状と復興視察
平成20年10月1～3日、新潟県小
千谷市、長岡市、柏崎市の視察研修
を行いました。

小千谷市は推定被害額約800億
円で、災害対策活動は3日間ほどの
「混乱期」は救出救助・医療救護、
4日目から10日目の「收拾期」は被
害調査、ライフラインの応急復旧、
11日目の「回復期」は仮設住宅の供
給をしながら復旧事業計画・復興計
画の策定を始めました。

長岡市では、市の中心市街地にあ
った商業施設を借り受け市民との協
働のまちづくりの実証実験を行って
おり、まちなか型公共サービスの展
開を図っています。

柏崎市は2284億円余りの施設
被害があり、本年度中に100パー
セントの完成を予定しています。視
察途中、市内には仮設住宅に生活す
る市民や高速道路路上に残る路面段差
など震災の爪あとが未だに残る現状
を目のあたりにしました。



長岡市再開発事業を視察して

政策総務常任委員会

ゆめづくり地域協働プログラム、北
広島町デマンドバス運行

10月6日～8日に広島県呉市、北
広島町、岡山県倉敷市を視察しまし
た。呉市「ゆめづくり地域活動プロ
グラム」については、施策目標を地



呉市役所にて

域力の向上を目的に、コミュニティ
の自立経営と小さな市役所の実現と
してまいりました。地域活動を行うま
ちづくり委員会が、それぞれ結成され
ていました。

北広島町は、デマンドバス事業に
ついて視察しました。

最近になって民間バス事業者が撤
退し、住民ニーズに対応した生活交
通サービスの提供のために、バス路
線の大規模な再編を行っています。サ
ービスの水準平準化のために、バス
運賃の均一化をし、それとともにデ
マンドバスの導入をしています。更
に検証を行い、質の高い公共交通を
目指すとしていました。鴻巣市でも
参考になると感じています。

倉敷市では市営の競艇事業による
自主財源の確保について視察しまし
た。平成19年に1億円を一般会計へ
繰り出しをしていました。

市民環境常任委員会

亀岡市にぎわい行動プラン

平成20年10月21日から23日までの3日間、京都府亀岡市、京都府及び京都府京都市を視察しました。

初日に亀岡市では、平成17年から21年までの5年間に於いて、『食・農・健康・にぎわい行動プラン』事業を展開しています。食と農の理解促進事業として、旬の地元食材用レシピを直売所に常設したり、食と農を通じたにぎわいづくり事業では、旅行会社と連携して都市住民の親子や子ども会に対し、農業体験事業受け入れの体制づくりを行う事などを実施しています。

当日の昼食で現場を視察した日替



亀岡産の食材を使用した日替わりランチ

わりシエフレストラン』かめおか四季菜』は、ワンメニューワンランチ方式のレストランで、登録シエフレ組による運営を精力的に展開していました。

地産地消の理念と安全安心な食文化のバランスがとれた事業展開は、本市の今後にとつて参考すべき点多々あると感じました。他に、京都ジヨブパーク・京都市バイオディーゼル燃料化事業を視察しました。

クリーン・ネット21

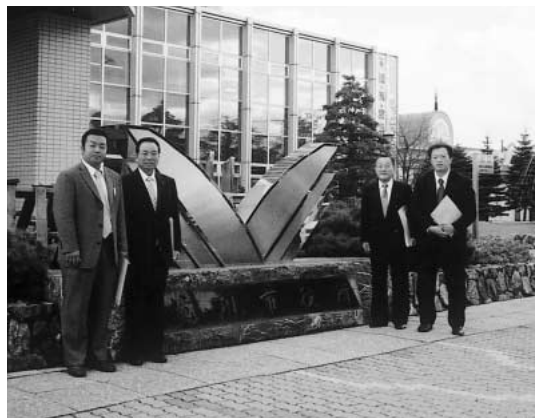
旭川科学館・地域街なか交流広場・保育計画「保育園民営化」

平成20年10月29～31日、北海道旭川市、滝川市、恵庭市を視察しました。旭川科学館には、科学に親しみそこから交流の輪が広がって欲しいという願いが込められており、様々な視点から科学を親しみ学べる施設で、入場料は中学生まで無料で子どもたちは放課後に気軽に学べます。

滝川市では、中心市街地活性化のため、空洞化が進む中心部に多く集積している既存の都市機能を再生・有効活用し、新たに市民活動の拠点となる中心市街地を形成しようという「滝川市中心市街地活性化基本計画」を策定。商店街と市民活動の協

働が、中心市街地に賑わいを再生するものと定めています。

恵庭市では「保育園民営化ガイドライン」を視察。公立保育所5カ所の内1カ所を民間委託し、0歳から5歳までの乳幼児を保育しています。定員は435名で現在は定員を8名上回っていますが、待機児童は過去5年間0人。今後も民営化実現に向けて推進していくとのことでした。



滝川市役所にて

一人会派クラブ

生涯学習宣言都市・掛川市

物を大切にし、生きている事を意義ある人生とする為に生涯学びます

スローライフ都市

平成20年11月10日から12日までの



掛川市役所にて

日程で静岡県掛川市・三島市・浜名湖町を視察しました。

掛川市は、都市づくり、人づくりの基本的課題を徹底した住民参加で決めていく。文化の香り高い教養のあるまちづくりのために生涯学び続け、行政の幸せを築いていくという民主主義の根本を学んできました。

幼保一元化の事業では、21園の公立の幼稚園、保育園が8園に再編されました。住民が運営する「地域生涯学習センター」など通じ、理解を得る民主的な方法と議員全員参加の特別委員会での徹底した論議で決定されました。

市民が自ら参加し、自分の人生と合わせて都市づくりを納得して進める政治の民主主義を本市においても追及していく決意をしました。